

『他人事』ではなく
『自分』が起こしたら、『自分』が遭ったら
『家族』が起こしたら、『家族』が遭ったら

◇交差点事故の防止◇

… 安全は 心と時間の ゆとりから …
運転者一人ひとりが、
「交通ルールの遵守」と「思いやりのある運転」
を、再認識し、模範運転を実践しましょう

① 子供・自転車の急な飛出しに注意

信号が変わる直前直後は、歩行者・自転車の急な横断や飛出しがあります。
交差点を右左折する際は、最徐行の上、首を振って見ることによって、
歩行者・自転車を早く発見する安全確認を徹底しましょう。

② 「思いやりのある運転」の実践

交差点では、歩行者、自転車及びバイクの「交通弱者」が被害者となる重大事故が多発し、
なかでも65歳以上の高齢被害者も多く、
交差点等では「交通弱者」の発見に努め、その通行を優先させ保護する
やさしい「思いやりのある運転」を心掛けましょう。

③ 危険を予測する運転

交差点を通行する際は、他の通行車両の動向や周辺に潜む危険を早めにチェックし、
「危険を予測する運転」を励行し、青信号や優先道路等では優先権の意識を持たないで、
安全確認を徹底しましょう。

- ◆ 歩行者・自転車は、車の方が止まってくれると思っている人が多いものです
- ◆ 見たつものの、『見落とし』が死を招く
- ◆ 意識・自覚してスピードを落とす
- ◆ 目配り気配りで、危険行動を見逃さない